久小だより

久田見小学校

令和３年３月２４日

ありがとうございました

校長　奥村雅人

世界中が新型コロナウイルス感染症で振り回された１年間でしたが、まもなく令和２年度も終わりを迎えます。

そんな中、久田見小学校をまとめ、リードしてくれた８名の６年生が卒業します。

４月当初からの学校休業から今年度の卒業式まで、６年生のみなさんには多くの面で苦労をかけてきました。しかしながら、運動参観や高原グループでの活動、分団会などでは、いつも６年生がリーダーシップを発揮してくれました。また、どんな時も笑顔で元気いっぱいな姿を見せ続けてくれました。名実ともに久田見小学校の『顔』として、全力でがんばってくれました。感謝の言葉以外ありません。

「本当にありがとう。」中学校でもさらにがんばってください。

今年度は「ひびきあい」をキーワードに、仲間との関わりを大切にした１年間でした。密になるような直接関わり合う活動はできませんでしたが、その分「あたたかい言葉」を使うことを心がけることができました。

新しいカリキュラムを見据えた国語の授業研究も、日常での関わりを大切にした成果が、ずいぶん表れているのを感じました。

残念ながら４９年目のトランペット鼓隊の披露の場はありませんでしたが、その音色の「ひびきあい」は、来年度の５０年目に確実に引き継がれていきます。

先日、卒業生の一人に久田見小での学校生活の感想を聞いてみました。すると、「久田見小学校で学んでよかった。」という言葉が今年度も聞かれました。とてもうれしい言葉でした。在校生も、きっと同じ思いだと自負しています。

すばらしい１年間でした。ありがとうございました。

※※

保護者・地域の皆様へ

今年度も保護者・地域の皆様に本校の教育活動を支えていただき、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校に来ていただく機会もなく申し訳ありませんでした。しかしながら、一緒に登下校していただくなど子どもたちのためにたくさんのお力添えをいただきました。こうした温かい支えのおかげで、職員もがんばれました。誠にありがとうございました。

今後も「地域の宝」である子どもたちのために、職員一同精一杯がんばっていこうと思っております。何とぞご協力の程よろしくお願いします。